事業番号 98 事業の名称 社会教育事業・生涯学習推進事業 担当部署 教育文化部

											X 11)					
Infl	톨業の目的・概要	(目的) 興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。 (概要) 市教育委員会の主催で、旧街道探訪講座2講座、パソコン講座3講座、はじめての英会話1講座、俳句の作り方を 学ぶ1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催しました。								各市町で	で独自に生涯	学習講座を実	施			
	事業期間	事業開始	· -	終了(予	·定)年度	-				終重	業費 H	23予算 H	23決算 H24予算	H24決	算 H25予算	
(1	事業の対象だれ、何に対して)	市内在住、在勤	•	1, 1, 1	<i>Z</i> / <i>Z</i>			An :		(単位	:千円)	626	626 581 626 581		581 581 581 581	評価の見方 A 現行どおり実施
(文)	事業の意図 対象をどのような状 態にしたいか))ような状 興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけにな				ることを意図しています。			- 総事業費		費·県費 也方債 負担額	594	498 436		465 459	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直し
			日的		ı						ı	車業弗/畄/ -	イ 		評価	E 事業の廃止の検討
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果 H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目 設定の根		H23予算 H24予算 H25予算	事業費(単位 H23決算 H24決算	ル: 千円) H24決算の主な内訳 (単位: 千円)	評価 成果 事業費		の説明
	ID 44* >> 4m;=4=3# m;	市内在住、		生涯学習への関心を		講座申込者数:	100	0/	节集		144	144	# 在	A	文化財保護審議会 元氏が講座を受け	の委員である小林 持ち、募集人数もほ
	旧街道探訪講座	在勤、在学 の方	1講座4回で、2講座各30人を 募集することで	高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	平心有36万	募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	1 %	募集定員の充	疋	144		講師料72千円×2回	維持	ぼ確保していること	
(2)	パソコン講座	市内在住、在勤、在学		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持	中江李201	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	100 87 % 募集定員の 100	芦生字号の大	II.	240 195		はじめてのパソコン講座 講師料15,000円×5回 はじめてのワード講座 講師料15,000円×5回 はじめてのエクセル講 座講師料15,000円×5	В		らの要望も多く、募
	ハノコン 神座	任勤、任子の方	1講座4回で、3講座で各講座 15人募集することで	局め、子質息飲を持つきっかけとしてもらう	中 还有 39八				新来 足貝 の 北	足	195			維持 維持	集人員もほぼ確保してい 内容を一部見直しをし、	とし、実施する。
(a)	はじめての英会記	市内在住、		生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持		講座申込者数・	100	0/	募集定員の充		75 75	75 75	講師料15千円×5回	В		.人数を確保していた 募集人数が減ってい
<u> </u>	なしめての光云記	の方の方	5回講座で15人募集することで	つきっかけとしてもらう	中心有 0 八	募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	7/0	新来ル貝の兀 	疋	75		再叫杯13 □□ <3□	維持 維持	るので、日程や内容 集人数確保を努め7	ド等を再検討し、募 たい。
<u>(4)</u>	俳句の作り方を学	市内在住、 な 在勤、在学		生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持	申込者8人	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合	69		募集定員の充	足	60	60	講師料15千円×4回	В		して大幅に募集人数 程や内容等を再給
-	「原たでリック」ドツカで子	の方の方	4回講座で24人募集すること で	つきっかけとしてもらう	中心有 6人		80	/0	 分米 疋貝ツ儿	Æ	60		ᄜᆇᆔᄭᆟ거ᅥᆝᆝᄉᆍᄖᆜ	維持 維持	を減らしたので、日程や内容等を再検 討し、募集人数確保を努めたい。	

		事務事業	改善内容		事務事業	事業概要
	2	パソコン講座	住民からの要望が高い講座である。来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。			
事務事 業の改	3	はじめての英会話	来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整し、募集状況によって見直しを検討する。	H25以降新 規に実施す		
善内容		俳句の作り方を学ぶ	来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整し、募集状況によって見直しを検討する。	る事務事業		

維持

			及八十川门以叶屾宗			
事業番号	98	事業の名称	社会教育事業•生涯学習推進事業	担当部署	部	課
, MA		7 7 7 7 7 7 7			教育文化部	生涯字督課
		I			I	
		(目的)				

#	木田り	90	事業の石物	化云教	(月尹未*工佐于	白化些学未				7년	크마伯	孝	教育文化部	<u> </u>	上涯学習課				
事	業の目的	• 概要 (株 市学た	た、講座から自 既要) 教育委員会の ぶ1講座、自分 。	主的にサー主催で、旧行で装うはじぬ	クルが立ち上がるこ 封道探訪講座2講座	めを始めるきっかけにな とを奨励しています。 、パソコン講座3講座、 5道入門講座1講座及で	はじめての英名	会話1講座、俳句の	())作り方を 市	近隣市 5の状況	の実施状況 「町や先進都 記等を具体的 記載)	各市町~	で独自に生涯						
	事業期間		事業開始	年度	_	終了(予	多定)年度	-						23予算 H		H24予算	H24決	算 H25予算	
(だ ▲ (対		対して) ^円	内在住、在勤、		とにより、市民が活動	めを始めるきっかけにな	さることを意図し	 ています。	-	総	事業費	う ち サ	: 千円) ·般財源 費·県費 也方債	626 626	626 626	581 581		581 581 581 581	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合
Ţ	態にしたい	` か`)										受益者	負担額	594	498	436		476 436	D 運営主体の見直し
					目的			1	成	甲				事業費(単位				評価	E 事業の廃止の検討
	事業を構 事務事		対象 (だれ、何に 対して)		手段)ような手段を使って) 引~ 10月~11月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単	成果指標の 設定の相		H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算 <i>0</i> (単位:	T III \	評価 成果 事業費		の説明
(5)	自分で装 の浴衣	うはじめて	市内在住、 在勤、在学 の方	2回講座でで	15人募集すること	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う		講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	3	33 % 30	募集定員のす		32 32		講師料8千 ×2人	円×2回 ·	維持維持		して大幅に募集人数 程や内容等を再検 呆を努めたい。
6	茶道入門	講座	市内在住、 在勤、在学 の方	4回講座で で	15人募集すること	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う		講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	6	60 60 %	募集定員のチ		60	60	講師料15日	円×4回 [·]	維持維持		きていないので、日 討し、募集人数確保
7	市内史跡	ぶめぐり講座	市内在住、 在勤、在学 の方	2回講座で で	20人募集すること	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う(くらい?)。	申込者17人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	8	50 35 % 30	募集定員のす		15 15	15	講師料15,6	000円	維持維持		して大幅に募集人数 今後も募集人数確
8																			

		事務事業	改善内容		事務事業	事業概要
		自分で装うはじめて の浴衣	来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整し、募集状況によって見直しを検討する。			
事務事 業の改 善内容	6	茶道入門講座	住民からの要望が高い講座である。来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。	H25以降新 規に実施す る事務事業		
善内容						